

35歳の主婦で子持ちの私が初体験したのは

テレフォンクラブ

相手は年下の可愛い男の子

「いやあ、さっきはナヨナヨ系って言われちゃって・・・」

「可愛いすぎるって意味なんじゃないの？弟みたいに思われちゃったのよきとっ」

小さなデジタル端末の向こう側に、年下の男の子の声。

まだ年齢も聞いていなかったが、可愛い声だからきくと年下。

さっきキツ目の女に引っかかったみたいで落ち込んでる彼を、ちょっと無理気味に励ましてる。

「そ、そうなんですかねえ・・・」

ちょっぴり自信なさげなところが、“男らしい”シャキッとした男性好みの女性からすれば好感を持たれないのかもしれない。

だけど、

「そうよお！とっても綺麗な声しているし、私は好きだなあ」

とにかく褒めてみる。

ちょっと強引でも、こういう男の子にはストレートに言った方が良い。私のさほど多くもない男性経験から導き出した答えだ。

「あ、ありがとうございますっ！」

主婦として生活を始めて2年。

夫と子持ちの女でありながらこうしてスマートフォン片手にツーショットのテレフォンクラブに電話をかけている理由は、もう言わなくても見当をつけてもらえそうなものだ。

夫は毎日仕事ばかり。

「それより、あたしの方がいいのかな？心配なの」

「えっ、何がですか？」

「あたし、きっとあなたよりずっと年上よ？」

彼と声で繋がって約2分、ここで初めてお互いの年齢を告げ合った。

“26歳と35歳”

彼の誕生日は聞く理由もなかったが、あと1ヶ月もしないうちに36になる私と彼はほぼ10歳も年が離れていることになる。

それでも彼は私の予想よりは年上だった。もっと年下で、下手したら学生さんかなとも思ったくらいだから。

少し私の胸が弾み始める。理由は自分でもよく分からなかった。

体験版はここまでです。

もし内容を気に入っていただけましたら、

続きを製品版でお楽しみいただけますと幸いです。